

平成 30 年第 3 回

中部知多衛生組合議会定例会

会 議 録

中部知多衛生組合









化槽の普及により、し尿等の搬入性状が当初設計負荷と比較して希薄化しているため、施設運営の効率化が困難な状況となっております。こうしたなか、継続的かつ、安定した処理機能の確保、循環型社会に資する処理システムへの転換を目指し、平成27年度に策定いたしました「し尿処理施設整備方針検討業務」を基に、下水道放流方式への改修整備に向け進めていくなかで、本年度は、今後実施予定の延命化基本計画等及び改修工事を循環型社会形成推進交付金対象事業として国・県に申請するために「地域計画」及び「生活排水処理基本計画」の策定を委託いたしました。また、施設の維持管理等におきましては、施設の老朽化に伴い維持補修費等が年々増加するなかで、下水道放流方式への改修整備まで施設を合理的に運転し、経費削減を図るため、前年度に引き続きユーティリティー管理及び補修工事等を含めた包括的な委託を行いました。これにより機器設備においては計画的な工事・修理等を行いつつ突発的な故障にも柔軟に対応することができ、順調な運転を続けることができました。決算状況をみますと、歳出は2億8千772万4千491円で、前年度に比べ2千828万円余の減額となりました。これは、総務費において退職した組合職員の給与及び退職手当による人件費が減額となったことが主な要因でございます。生し尿等の収集量は、公共下水道の面整備の進捗、接続人口の増加によりまして引き続き減少していくものと推測いたしますが、今後も施設の効果的な運営及び維持管理を図るとともに、下水道放流方式への改修整備に向け進めてまいります。以上が平成29年度決算にあたりましての概要説明とさせていただきます。続きまして、決算の内容につきましてご説明を申し上げます。1・2ページをお開きください。このページは、平成29年度中部知多衛生組合会計歳入歳出決算の総括表でございます。歳入決算額は、2億9千910万9千646円で、歳出決算額は、2億8千772万4千491円でございます。歳入歳出差引残額は、1千138万5千155円で、全額を翌年度へ繰越すものでございます。歳入歳出の詳細につきましては、事項別明細書と施策の概要及び成果にてご説明申し上げます。恐れ入りますが、13・14ページをお開きください。このページは、平成29年度の歳入歳出決算の事項別明細書でございます。初めに、歳入からご説明を申し上げます。1款1項1目1節 分担金は、歳出予算から2款の繰越金と3款の諸収入を差し引いた額を、投入量により各市町で按分するもので、備考欄にございますように半田市1億24万7千円、常滑市1億2千351万9千円、武豊町5千932万円、合計2億8千308万6千円を分担金として各市町から納入をしていただいたものでございます。2款1項1目1節 繰越金は、備考欄にございますように前年度繰越金で、1千139万6千873円でございます。3款1項1目1節 雑入は、462万6千773円で、主なものは、備考欄の周辺整備事業費負担金の79万4千798円と焼却灰処分費負担金の381万2千128円でございます。周辺整備事業費負担金は、長成公園の維持管理等にかかった経費の総額のうち、60%を当組合

が、40%を常滑武豊衛生組合が負担することとしており、平成29年度の周辺整備事業にかかった経費の40%を常滑武豊衛生組合に負担していただいたものでございます。また、焼却灰処分費負担金は、焼却灰の処分を民間委託した常滑市と武豊町の負担金でございます。その内訳は常滑市257万4千704円、武豊町123万7千424円でございます。表の一番下の段の歳入合計といたしまして、予算現額の計は、2億9千931万6千円で、調定額、収入済額はともに2億9千910万9千646円となるものでございます。続きまして、33・34ページをご覧ください。歳出につきましては、施策の概要及び成果にてご説明を申し上げます。1款1項1目 組合議会費は、支出済額70万7千227円で、主なものとしまして、報酬及び行政調査視察費でございます。議会の開催状況等につきましては、記載の通りでございます。行政調査視察費は、右側に記入してございます、9万7千547円でございます。平成29年8月4日に行政視察を実施し、記載の2か所を視察していただきました。2款1項1目 総務費の支出済額は3千310万4千525円で、主なものは、人件費2千585万9千935円で、特別職4人、派遣職員2人、職員2人を含む人件費でございます。職員福利厚生費1万1千720円は、職員の健康診断等の経費でございます。地域計画等策定事業費243万円は、当施設の改修整備工事に伴い実施する事業を循環型社会形成推進交付金の交付対象事業として国・県に申請するため「地域計画」及び「生活排水処理基本計画」を策定しました経費でございます。続きまして、35・36ページをご覧ください。2款2項1目し尿処理費は、し尿処理に直接要する経費で、支出済額は2億5千391万2千739円でございます。処理状況については、収集量等、記載の通りでございます。施設運転管理費2億4千840万円は、平成19年度から施設の運転管理業務を民間に委託したもので、平成28年度からは、これまでの運転管理業務のみの委託からユーティリティー管理及び補修工事等を含めた包括運転管理業務へと変更し、民間技術を活用した合理的な施設の運転及び経費削減を図りました。委託業務の内容につきましては、1 維持管理において、処理施設については、投入施設・一次二次処理施設・高度処理施設及び前処理施設等の運転管理で、庁舎等管理については、電気保安、消防設備等の管理及び長成公園管理、周辺整備等でございます。続きまして、37・38ページをご覧ください。2 分析業務につきましては、排出水の汚濁物質、排出ガス及びダイオキシン類などの測定を行い、その測定結果はいずれも公害防止計画値、保証値を下回っております。測定結果、内容につきましては、次に記載をしてございます。3 ユーティリティー調達管理につきましては、施設の運転に直接必要な資材等の調達管理でございます。ユーティリティーの使用量につきまして、薬剤、燃料等、電力、用水別に記載してございますが、し尿収集量の減少に伴い、全体的に減少傾向でございます。4 補修工事等につきましては、施設の安定した運転を図るため計画的な機器の工事、点検整備、修理等を行いつつ、突発的な故障

にも対応いたしました。主な工事等は、1号井戸改修工事始め10件でございます。続きまして、39ページをご覧ください。廃棄物等処分費551万2千739円は、当施設から排出される廃油、腐食性廃酸、沈砂汚泥、焼却灰の廃棄物について処分いたしました。処分状況については、記載の通りでございます。恐れ入りますが、17・18ページにお戻りください。3款 公債費及び4款 予備費は、ともに支出がございませんでした。表の一番下の段の歳出合計でございますが、予算現額の計は2億9千931万6千円で、支出済額は2億8千772万4千491円、不用額は1千159万1千509円となるものでございます。続きまして、8ページをご覧ください。これは、平成29年度の決算審査の意見書でございます。去る8月13日、監査委員のご審査をいただき、意見書をいただいておりますので、その写しを添付させていただきました。以上で、認定案第1号 平成29年度中部知多衛生組合会計歳入歳出決算認定についての提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議のうえ、ご認定賜りますようお願いを申し上げます。

議長（杉江繁樹） 説明は終わりました。これより、質疑に入ります。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（杉江繁樹） 質疑を終結いたします。これより討論に入ります。討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（杉江繁樹） 討論を終結いたします。これより採決を行います。本案は、これを認定するにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（杉江繁樹） ご異議なしと認めます。よって、認定案第1号は、原案のとおり認定することに決しました。以上をもちまして、本日の日程は全部終了いたしましたので、会議を閉じることになしたいと思っております。閉会にあたりまして、管理者からあいさつの申し出がございますので、これを許します。管理者、常滑市長。

管理者（片岡憲彦） 議長のお許しをいただきまして、謹んで閉会のごあいさつを申し上げます。ただいまは、ご提案申し上げました案件につきまして、





地方自治法第 123 条第 2 項の規定により、ここに署名する。

平成 30 年 10 月 18 日

議 長 杉 江 繁 樹

議 員 渡 辺 昭 司

議 員 伊 奈 利 信